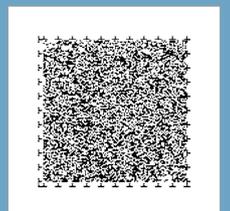


《基本目標》

5

産業が元気で  
魅力と活力にあふれ  
働きがいのあるまちをつくる

---



5-1 自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てる

5年後のまちの姿

農業生産基盤の強化、優良農地の保全により、多様な担い手の確保・育成が促進され、地域の特色を生かした農業が守り育てられています。

また、安全・安心で付加価値の高い農業や、観光との連携、地産地消の推進が図られ、久喜市産農産物の知名度が向上するとともに、農業への関心が高まっています。

さらに、農業分野における脱炭素に向けた取組みが進んでいます。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

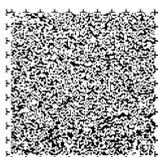
ゴール	 2 飢餓をゼロに	 4 質の高い教育をみんなに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 12 つぶや消費、つよく責任
ターゲット	2.3 2.4 2.5	4.4	8.2 8.3 8.5 8.9	9.1 9.2 9.4	12.1 12.3

現状と課題

- 農業の担い手不足を背景に、遊休農地<sup>\*1</sup>が増加傾向にあり、多様な担い手の確保が急務となっています。一方、ブランド化を通じた付加価値の高い農産物や、AIを活用したスマート農業<sup>\*2</sup>への新規参入者の増加等、新たな潮流も生まれてきています。
- 本市では都市近郊の農業が営まれており、稲作のほか、梨・いちご等が栽培されています。しかし、従事者の減少と高齢化が進み、持続可能な農業を守り育てることが必要です。
- 農業経営の確立には、生産性の向上が必要であり、道路や水路、圃場の整備、農地の集積等が課題です。また、農業の収益は、地球温暖化や自然災害等の影響を受けやすく、農業者の収入の安定化を図ることが重要です。
- 農業を担う多様な主体を育成するため、企業参入や農業法人の設立促進、後継者や新規就農者の育成が必要です。また、都市近郊農業<sup>\*3</sup>の特長を生かし、市民の農業への関心を高め、中長期的に農業に関わる人を増やすことが重要です。
- 消費者の消費動向に応じた良質な農産物の生産の促進が必要です。また、農産物の知名度の向上や、生産・加工・流通を一体的に行う農業の6次産業<sup>\*4</sup>化を図り、高付加価値化を目指すとともに、市内での地産地消を進めることが重要です。
- 技術革新を踏まえたスマート農業の導入が進められており、今後はこの潮流を拡大するとともに、地球に優しい環境保全型農業<sup>\*5</sup>の推進が必要です。また、農業や観光の拠点機能の充実が必要です。



スマート農業によるトマト栽培



施策の方向性



協働・共創のまちづくり指針

- 🌱 地域の農業資源の保全や環境維持に努めます。
- 🌱 市内農産物を積極的に購入し、地産地消を進めます。
- 🌱 SNS等を通じ、市内の特産品を市内外に広くアピールします。

(1) 農業生産基盤の強化と優良農地の保全を進めます

生産性向上や経営安定化に向けて農地の集積・集約化を進めるとともに、農業用水路等の農業生産基盤の維持管理や整備を行います。また、農業振興地域制度や農地制度の適正な運用を図り、優良農地の保全や遊休農地の解消に努めます。

(2) 多様な農業の担い手を確保し、育てます

持続可能で自立した農業経営に向けた支援を行い、農業者の法人化や市内外の企業参入を推進します。また、後継者や新規就農者の育成、障がい者が農業分野で活躍できる農福連携の取組み等、多様な人材の活躍を促進します。

さらに、市民の農業への関心と理解を深めるため、市民農園を活用した講座等の開催、農園利用者による自主事業を促進します。

(3) 付加価値の高い農業、地産地消を促進します

安全・安心な農産物や付加価値の高い農産物への消費者ニーズに対応するため、農業の6次産業化や有機栽培、減農薬・減化学肥料栽培等の環境保全型農業等を促進します。また、久喜市産農産物の地産地消や販路拡大を図るため、農産物直売所の充実を促進するとともに、学校給食への農産物の供給量の増加に努めます。

(4) スマート農業の支援とゼロカーボン技術を促進します

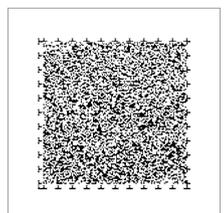
農作業の効率化と最適化を図るため、スマート農業の導入を支援します。また、燃料や資材の削減を実現するため、脱炭素技術の導入を促進します。

さらに、これらの技術を導入して生産された農産物の新たなブランド化を図ります。

(5) 農業振興拠点（道の駅）の整備を進めます

地域資源を生かした農業や観光の拠点として、防災機能を併せ持つ農業振興拠点（道の駅）を整備し、産業振興や交流人口\*6の増加を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3 (2021))	目標値 (R9 (2027))
遊休農地面積	83.0ha	77.0ha
農業法人数	9法人	12法人



### 関連する分野別計画

久喜市農業振興地域整備計画（平成26（2014）年度策定）

久喜市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（令和3（2021）年度変更）

第2次久喜市農業農村基本計画（令和5（2023）年度～令和14（2032）年度）



\*1 遊休農地：かつて農地であったが、現在は農地として利用されておらず、将来も利用の見込みがない土地のこと。

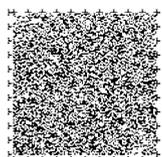
\*2 スマート農業：ロボット技術やICTを活用して、省力化・精密化、高品質生産の実現等を推進している新たな農業のこと。

\*3 都市近郊農業：p.29参照。

\*4 6次産業：p.29参照。

\*5 環境保全型農業：農薬や化学肥料の使用量減少、有機栽培の実施等による、環境に配慮した持続可能な農業のこと。

\*6 交流人口：p.12参照。



【コラム】

## 久喜市の目指す「農業振興拠点(道の駅)」

道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、活力ある地域づくりのための「地域連携機能」を備えた施設です。

本市では、道の駅の持つ本来の機能と併せて、地域の農業資源を活用した「農業振興機能」、災害時における避難場所となる「防災機能」、スポーツを楽しめる「スポーツ振興機能」等、さまざまな機能を兼ね備えた施設を整備します。



### 道の駅の機能

#### 休憩機能

- ・24時間、無料で利用できる駐車場、トイレ

#### 情報発信機能

- ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報 等を提供

#### 地域連携機能

- ・文化教養施設、観光レクリエーション施設等の地域観光施設

### 久喜市特有の機能

#### 農業振興機能

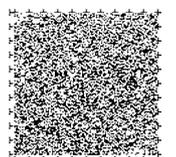
- ・農産物直売所、観光農園等の農業振興拠点

#### 防災機能

- ・災害時における避難場所

#### スポーツ振興機能

- ・スポーツに親しみながら健康増進に資する施設



5-2 まちの賑わいを支える商工業を振興し経済の活性化を図る

5年後のまちの姿

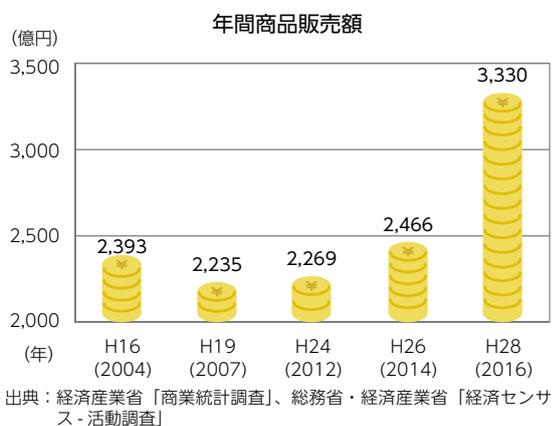
中心市街地の活性化が図られ、消費活動は安定し、まちの賑わいと活力が維持・創出されています。また、地域経済を支える中小企業の経営基盤が強化されるとともに、交通便利性を生かした新たな産業基盤が整備され、環境に配慮した優良企業の誘致と立地が進んでいます。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

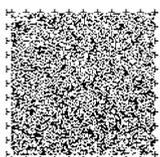
ゴール				
ターゲット	4.4	8.1 8.2 8.3 8.9	9.1 9.2 9.3 9.4	12.1

現状と課題

- 人口減少による国内市場の縮小、経済のグローバル化の進展、インターネットショッピングの普及、自然災害や感染症による影響等、我が国の地域経済をめぐる環境は著しく変化している中、本市の地域商工業は、少子高齢化の進行により、後継者不足や人材不足が経営上の課題となっています。
- 市内には、幹線道路沿いに大規模商業施設が立地しているだけでなく、地域に密着した特色ある商店街もあります。消費者のニーズに応えながら、それぞれの特性を生かし、地域経済の活性化に向けた取組みを進めることが重要です。また、観光資源を生かした地域特産品の開発等、商業の新たな魅力づくりも必要です。
- 本市には、東北道の久喜インターチェンジや圏央道の白岡菖蒲インターチェンジ等があり、広域的な交通便利性が高いことから、企業の立地に関する相談が多く寄せられています。しかし、既存の工業団地用地が限られていることから、新たな産業基盤の整備が求められています。
- 今後は、地域特性を生かした企業誘致・産業集積の推進に加え、企業のカーボンニュートラル\*1に向けた取組みの促進が求められています。また、市内の既存企業の経営安定化や時代の要請・需要を捉えた起業・創業による地域経済の活性化が必要です。



清久工業団地航空写真



## 施策の方向性



### 協働・共創のまちづくり指針

- 本市の生産品を市内の商店で購入し、地域経済を盛り上げます。
- 本市ならではの特産品開発により、商工業等の魅力向上を目指します。

### (1) 賑わいと活力あふれる地域経済の活性化を推進します

市内の商店街が取り組む各種事業への支援により、賑わいと魅力のある商店街づくりを進めるとともに、大型商業施設と商店・商店街との連携により、魅力的で利便性の高い商業拠点の形成を図ります。また、商工業と観光業との連携により、新商品の開発や付加価値の高い商品づくり等を支援するとともに、イベント等を通じた市内外へのPRを強化します。

さらに、魅力ある技術や商品について、ふるさと納税制度<sup>\*2</sup>等を活用してPRするなど、積極的に情報発信します。

### (2) 市内事業者の経営安定化と起業促進の環境を整備します

商工会との連携のもと、経営相談や経営セミナー等の開催により、経営改善を支援し市内事業者の経営安定化を図るとともに、商店街のキャッシュレス化を推進し、利用客の利便性の向上を図ります。また、空き店舗の活用やビジネスグランプリ<sup>\*3</sup>の充実等により、起業・創業のための支援を進めるとともに、民間事業者が行う創業支援の施設整備に対して支援を行い、当該事業者と連携することで起業しやすい環境づくりの充実を図ります。

### (3) 新たな工業用地の確保と企業誘致を推進します

インターチェンジ周辺や主要な幹線道路の沿道等において、高い交通利便性を生かした産業基盤の整備を促進し、工業用地の創出に努めます。また、環境に配慮した取組み等、市の施策の推進に寄与する優良企業の誘致を進めるため、新たな企業の立地や移転に関する優遇助成制度の充実を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3 (2021))	目標値 (R9 (2027))
ふるさと納税寄附金の寄附者数	1,555人	2,800人
市内商店街のキャッシュレス化率	35.5%	40.0%
新たな流通・工業系用地面積	0.0ha	80.0ha

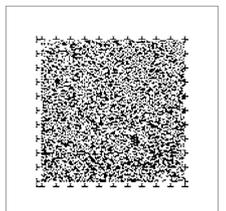
### 関連する分野別計画

久喜市中小企業・小規模企業振興基本計画（令和元（2019）年度～令和5（2023）年度）

\*1 カーボンニュートラル：p.15参照。

\*2 ふるさと納税制度：生まれ故郷や応援したい市町村等を自分で選択し、その自治体に寄附（ふるさと納税）ができる制度のこと。

\*3 ビジネスグランプリ：これから創業する方やビジネスプランを持つ中小企業者等を発掘するとともに、新たな取組みにチャレンジする人を支援するなど、市内をビジネス拠点とする事業者の創出を目的に、ビジネスプランを全国から募集する取組みのこと。



5-3 誰もが働きがいを感じられる雇用と働きやすい環境をつくる

5年後のまちの姿

雇用機会が確保され、市内の事業所ではライフスタイルに応じた柔軟な働き方が推進されています。また、若者や女性、障がい者、高齢者の就業が進み、市民が身近な地域で希望する働き方を選択でき、働きがいを感じることでできる就労環境が実現しています。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

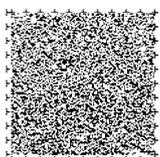
ゴール					
ターゲット	1.2	4.3 4.4 4.5	8.5 8.6 8.7 8.8	9.2	10.2 10.3

現状と課題

- 不安定な雇用情勢に加え、急激な産業構造の変化により生じる、求職と求人のミスマッチの解消等が求められています。また、長時間労働やハラスメントの解消等、誰もが働きやすい環境の整備が求められています。
- 人生100年時代<sup>\*1</sup>と言われる中、社会人の学ぶ意欲とキャリアアップ等のニーズの高まりや、オンラインによる学習環境の整備等を受けて、誰もがいつでも自由に学び直しができるリカレント教育<sup>\*2</sup>を推進し、社会構造の変化に対応できるような人材の育成が求められています。
- 本市では、ハローワーク春日部と連携し、久喜市ふるさとハローワークにおいて求職者を支援しています。今後も、関係機関との連携による市内での雇用の安定と雇用機会の拡充が必要です。また、若者や女性、障がい者、高齢者等の多様な人材を生かすための働き方や雇用機会の充実も必要です。
- 近年では、子育てや介護との両立等、柔軟な働き方を可能とする環境の重要性が増しています。働き方改革を促進し、誰もが自分らしく働ける職場環境の整備が求められています。



就労支援セミナー



## 施策の方向性



### 協働・共創のまちづくり指針

- ⚙️ ワーク・ライフ・バランスを意識した、働きやすい職場をつくります。
- ⚙️ 若者や女性、障がい者、高齢者等の雇用機会を積極的に確保します。

### (1) 雇用機会の拡大と就労支援の充実を図ります

地元での雇用機会の拡大を図るため、ハローワーク等との連携により、市内事業所の求人や内職募集等の情報収集を行い、求人情報を発信します。また、デジタル技術をはじめとする高い専門性や技術を持った人材の育成に繋がる実践的な学びを推進するため、県等と連携し、IT 関連や介護・福祉分野で役立つ技術を学べる各種セミナー等を開催します。

さらに、若者や女性、障がい者、高齢者等の雇用機会を増やすために、県との連携により、合同就職面接会の開催や各種制度の普及・啓発を行います。

### (2) 誰もが働きやすい環境をつくります

誰もが自分らしく働ける、多様な働き方に対応した環境やワーク・ライフ・バランスの観点を持った働きがいのある職場をつくるため、「多様な働き方実践企業」認定制度<sup>\*3</sup>の普及に努めます。また、勤労者の健康増進や余暇活動の促進を図ります。

### (3) 新たな雇用機会を創出します

産業基盤の整備により優良企業を誘致し、良好な労働環境が整った新たな雇用機会の創出に努めます。また、こうした取組みを積極的に市内外にPRし、幅広い世代の移住・定住を促進します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3 (2021))	目標値 (R9 (2027))
就労支援セミナー参加者数	44人	70人
多様な働き方実践企業認定企業数	60社	72社

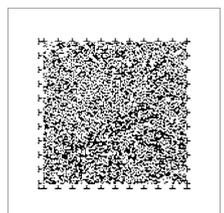
### 関連する分野別計画

久喜市中小企業・小規模企業振興基本計画（令和元（2019）年度～令和5（2023）年度）

\*1 人生100年時代：p.13参照。

\*2 リカレント教育：p.14参照。

\*3 「多様な働き方実践企業」認定制度：仕事と家庭の両立を支援するため、テレワークや短時間勤務等、多様な働き方を実践している企業等を埼玉県が認定する制度のこと。



【コラム】

## ふるさと納税制度を生かした市の取組み

ふるさと納税制度は、寄附を通じて生まれ故郷や、お世話になった地域、これから応援したい地域等を応援する制度です。

当該制度を生かした市の取組みとして、寄附に対するお礼としての返礼品を用意しています。本市でも、市内を中心とする事業者の皆様から150品を超える返礼品のご協力をいただいております。寄附をいただいた市外在住の方に贈呈しています。

市内で生産する商品等を返礼品として登録してみませんか。

### 返礼品の充実

ふるさと納税制度は、地域の特産品や自治体の取組みを全国に向けてPRすることができることから、特産品の販路開拓や地域経済の活性化、自治体のイメージ向上の効果が期待できます。このため、本市では、事業者の皆様のご協力をいただきながら返礼品の充実に努めています。



#### 【返礼品の主な基準等】

- ・市内で生産されたもの
- ・市内で原材料の主要な部分が生産されたもの
- ・市内で製造・加工のうち、主要な部分を行い、相応の付加価値が生じているもの
- ・市内で提供されるサービスで主要な部分が市に相当程度関連性があるもの

